

テーマ「ネットトラブルから子どもを守る協働会議」

実施主体：兵庫県教育委員会

協力団体：兵庫県健康福祉部こども局青少年課 兵庫県警察 神戸市教育委員会
兵庫県私学総連合会 兵庫県立大学 NTT西日本(株)

《取組の概要》

- (1) 県教育委員会、県警、県立大学、各関係機関、民間企業が連携を密にして情報モラル向上を図る
- (2) 喫緊の課題に関する情報共有と各機関で行う取組での連携と協働
- (3) ネットトラブルに対するこれまでの取組内容及び方法の成果と課題についての協議
- (4) ネットトラブルに関する教材の作成と効果的な活用についての協議
- (5) 教員の情報モラル指導力の向上及び効果的な研修方法についての協議

1 本事業に取り組んだ理由(課題を含めて)

スマートフォンやSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)等の情報手段が急速に普及する中で、インターネット上のトラブルから児童生徒を守るため、教育委員会と県警及び関係機関等による連携体制の強化・充実を図るとともに、情報モラル教材の開発及び研修方法等の検討等、教職員の情報モラル指導力の向上を図る。

【課題】

- ・児童生徒のスマートフォン等によるインターネット利用については、学校での指導や県警の防犯教室(年間約600ヶ所)を実施しているが、依然、SNS利用による対人関係の悪化や悪ふざけ投稿(いわゆるバカッター問題)等のネットトラブルが起きている。また、スマートフォン等の長時間の使用によるネット依存の傾向等の問題も起きている。
- ・契約者である保護者が子どものインターネットの利用状況や危険性を把握仕切れていない。
- ・スマートフォン等の利用実態を把握し、インターネット上での危険性を正しく理解させる等、学校・家庭・地域が連携して、児童生徒に適切に指導する必要がある。

2 実施スケジュール

- 平成26年 6月23日(月) 作業部会
- 平成26年 7月 1日(火) 第1回協働会議
- 平成26年 7月30日(水) 作業部会
- 平成26年12月16日(火) 作業部会
- 平成27年 2月10日(火) 第2回協働会議

3 事業展開

- (1) ネットトラブルから子どもを守る協働会議の設置
 - ・ネット利用に伴う危険やネットトラブルを未然に防止に向けた情報共有
 - ・児童生徒の情報モラルを高める取組の協議
- (2) 構成員相互が活用できる教材等の開発
 - ・教材リンク集の開発
 - ・校内研修用パッケージの作成
 - ・動画教材の開発
- (3) 連携による講師派遣及び資料提供
 - ・地区別情報教育研修会の実施と県警、大学からの講師派遣
 - ・県警サイバー犯罪対策課による防犯教室との連携



(ネットトラブル防止啓発動画)

4 事業の成果(効果)

(1)教材リンク集の開設

文科省、総務省、警察庁、県警、各関係機関が作成した資料や教材等を、県教育委員会のホームページから閲覧できるように、各団体に許諾を得た上でリンク集を開設し、研修等で活用を促した。

(2)教材の作成

協働会議の作業部会において出された子どもを守るためのキーワードをもとに、「フィルタリングの徹底」、「消える記憶と消せないキロク」、「SNSの利用について」を作成し、校内研修等での活用を促した。

(3)ネットモラル向上の「主体的な取組」の紹介

県下で実施されている「ネットモラル向上の主体的な取組」を、県教育委員会のホームページ上で紹介し、今後の各地域や各学校での取組の参考となっている。

(4)動画の作成

県立大学生と警察官の座談会形式で、スマートフォンやアプリの利用に伴う危険性等を伝える動画を作成して県の教育用サーバ上に提示し、全市町で閲覧が可能となる予定である。

5 事業を成功させるためのポイント

(1) 関係機関と綿密に連携を図る(官、民、学の協働体制)

子ども達をネットトラブルから守る(未然防止)という目的のもと、各機関で実施している事業や取組について情報共有し、イベントや研修会の講師派遣、資料提供など積極的に相互に協力し事業の内容を充実させ、連携を図ってきたこと。

(2) 児童生徒の「主体的なルールづくり」につなげる

児童生徒のネット利用の実態を把握するにあたっては、児童生徒自身がアンケートの作成に関わって調査を行うこと。また、普段の生活を振り返りながら調査結果を分析し、よりよいネット利用に向けて、教員や保護者の指導だけでなく、児童生徒が主体的に話し合っ規則づくりにつなげること。さらに、ルールを家庭・地域等にも示し、児童生徒の主体的な取組で、情報モラルの向上が図れるようにしてきたこと。

6 今後の展開(継続・発展させていくために)

(1) ALLひょうごでの取組をより一層進める

協働会議を機会に、各関係機関との連携が密になり協力体制が整ってきたので、ネットトラブルから子どもを守る取組をALLひょうごで一層進めていく。

(2) 作成した教材の活用

県下に配置された情報教育専門推進員を中心に、地区別情報教育研修会で教材を活用し、各校の担当教員の指導力を高め、校内研修の充実につなげる。

(3) 先進的で効果的な取組の啓発

学校・家庭・地域等へホームページや研修会、イベント等を通じて紹介し、県下で「ネットモラル向上の主体的な取組」が広がるように、各種広報活動を積極的に活用する。

7 参考資料等【兵庫県教育委員会HP】

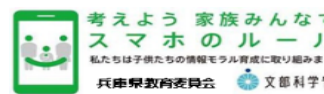
(1) ネットトラブルから子どもを守る教材リンク集

【URL】<http://www.hyogo-c.ed.jp/~board-bo/>



(2) ネットモラル向上の「主体的な取組」が推進されています！

【URL】<http://www.hyogo-c.ed.jp/~board-bo/>



(3) ネットトラブル等校内研修用パッケージ 【URL】<http://www.hyogo-c.ed.jp/~somu-bo/index.html>

